

マクロ経済学 基礎知識の確認

問1 次の計算をせよ。

(1) $\frac{1}{2} + \frac{1}{4} + 0.25$

(2) $(3+4) \times 5 - 33$

(3) $4^2 - 10 - \sqrt{9}$

(4) 50の8%

(5) 25の2割

問2

2点(2,2)(5,6)を通る直線を求めよ。切片、傾きは分数であらわすこと。

(SPI問題集より)

問3 所得を1000、商品1の消費量を y_a 、価格を100、商品2の消費量を y_b 、価格を200とする。 y_a を横軸、 y_b を縦軸にすると、どのような直線がかけるか。図示せよ。

問4

所得	300	400	500	600	700
消費	250	300	350	400	450

(1) 消費が所得の1次関数で表されるとすると、どのような式になるか。所得を Y 、消費を C として式で表わせ。

(2) 所得が500のとき、平均消費性向、限界消費性向はそれぞれいくらになるか。

問5 名目賃金を M 、価格を P 、生産量を Y 、労働投入量を N とする。「実質賃金は労働投入量の限界生産力に等しい」という内容を式で表わせ。

問6 1年後の105円の現在割引価値はいくらか。利率は5%とする。

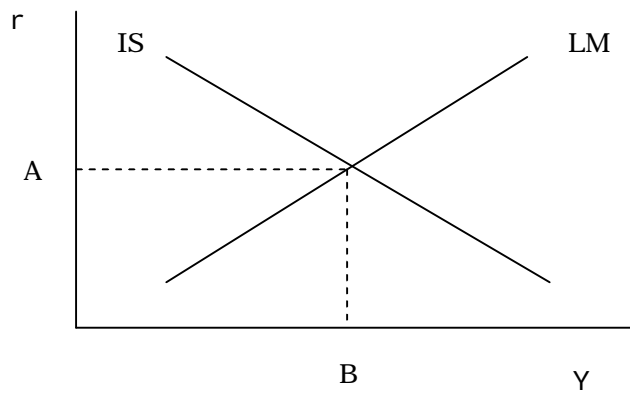
問7 需要面からみたGDP(Y_d)、供給面からみたGDP(Y_s)、所得面からみたGDP(Y_i)、消費(C)、投資(I)が次の関係にあるとする。

$$Y_d = C + I$$

$$Y_s = Y_i$$

消費関数は基礎的消費が200兆円、限界消費性向が0.6、投資は100兆円で一定の時、3つのGDPが一致する水準はいくらになるか。

問8



直線 IS が $r = 10 - 0.4Y$

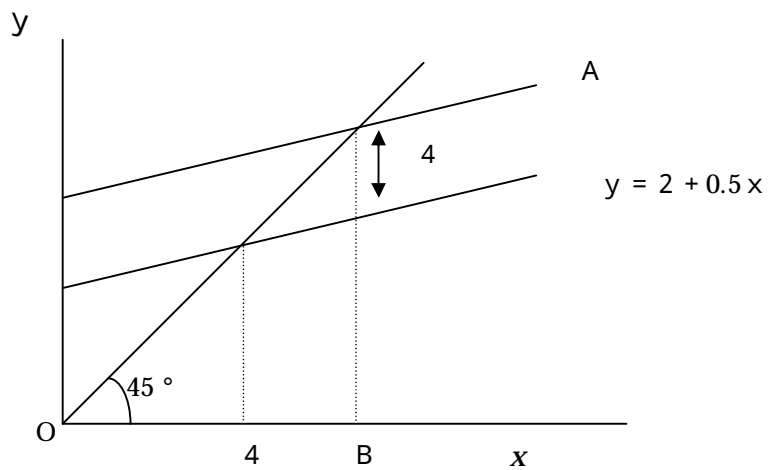
直線 LM が $r = -2 + 0.6Y$

のとき、次の値はいくらになるか。

A=

B=

問9



(1) 直線 A を式で表せ

(2) B の値はいくらになるか

問10 限界効用が逓減するとはどのようなことを意味してるか。ケーキを例にとって説明せよ。